

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652「京銀サステナビリティ経営サポート」の取り組みについて
～株式会社タナカファクトリーのSDGs・ESG経営をサポート～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、取引先のSDGs・ESG経営支援サービスのひとつとして、「京銀サステナビリティ経営サポート」を行っております。今般、株式会社タナカファクトリー（代表取締役 田中 忠幸、本社 大阪府東大阪市）に本サービスをご利用いただき、当行がサステナビリティ経営方針策定をサポートしましたのでお知らせいたします。

本サービスは、お客さまのSDGs・ESGの取り組みを経営戦略に組み込むことを促進するもので、お客さまの経営理念、経営資源のほか、外部環境も踏まえたマテリアリティ（重要課題）を設定し、経営方針策定をサポートします。

当行は、今後も、取引先のSDGs・ESG経営をサポートし、お客さまのさらなる発展と持続性のある地域社会の実現を目指してまいります。

記

企業の概要（敬称略）

企業名	株式会社タナカファクトリー
所在地	大阪府東大阪市加納5丁目10番23号
代表者	田中 忠幸
事業内容	金属製品製造業
サステナビリティ経営方針 【詳細は別紙】	1. 品質の追求と環境負荷の低減に挑む 2. 脱炭素社会の実現への貢献 3. 安心安全な職場環境づくり 4. ダイバーシティ経営

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。



株式会社 タナカファクトリー

重要課題

取組方針

数値・SDGs目標

1. 品質の追求と環境負荷の低減に挑む

- 各工程で品質会議の開催
- 品質パトロールの実施
- 検査員の増員
- 不良発生防止に向けた教育の徹底
- 協力会社との連携強化
- 在庫削減の推進
- 生産管理や工程検査におけるタブレットの導入

2030年までに
社外不良の抑制

年間0件

2030年度までに
金属スクラップの
排出量削減

20%
(2022年度比)



2030年度までに
製造工程における
図面・指示書の
ペーパーレス化

100%

2. 脱炭素社会の実現への貢献

- 最新鋭の生産設備の導入
- エコカーの導入
- 再生可能エネルギーの導入

2030年度までに
営業車両の
エコカーへの切り替え

100%



2025年度までに
中小企業版S B T

認定取得

3. 安心安全な職場環境づくり

- 安全パトロールと改善活動の実施
- 無事故記録の継続
- 安全な作業を行うための資格取得や講習受講の推奨

2030年度までに
事故発生件数

年間0件

2030年度までに
安全作業に関する
外部講習

全員修了



4. ダイバーシティ経営

- 生産性向上につながる社内改善の推進
- 臨機応変な対応を可能にする多能工化の推進
- 女性が働きやすい環境整備
- 製造現場への女性の積極的な起用
- 福利厚生充実化
- 社内勉強会の定期的な開催

2030年度までに
製造工程における
女性の人員引き上げ

250%
(2022年度対比)

2030年度までに
有給休暇の
最低取得日数

10日まで
引き上げ

2030年度までに
全社員を対象とした
講習会の開催

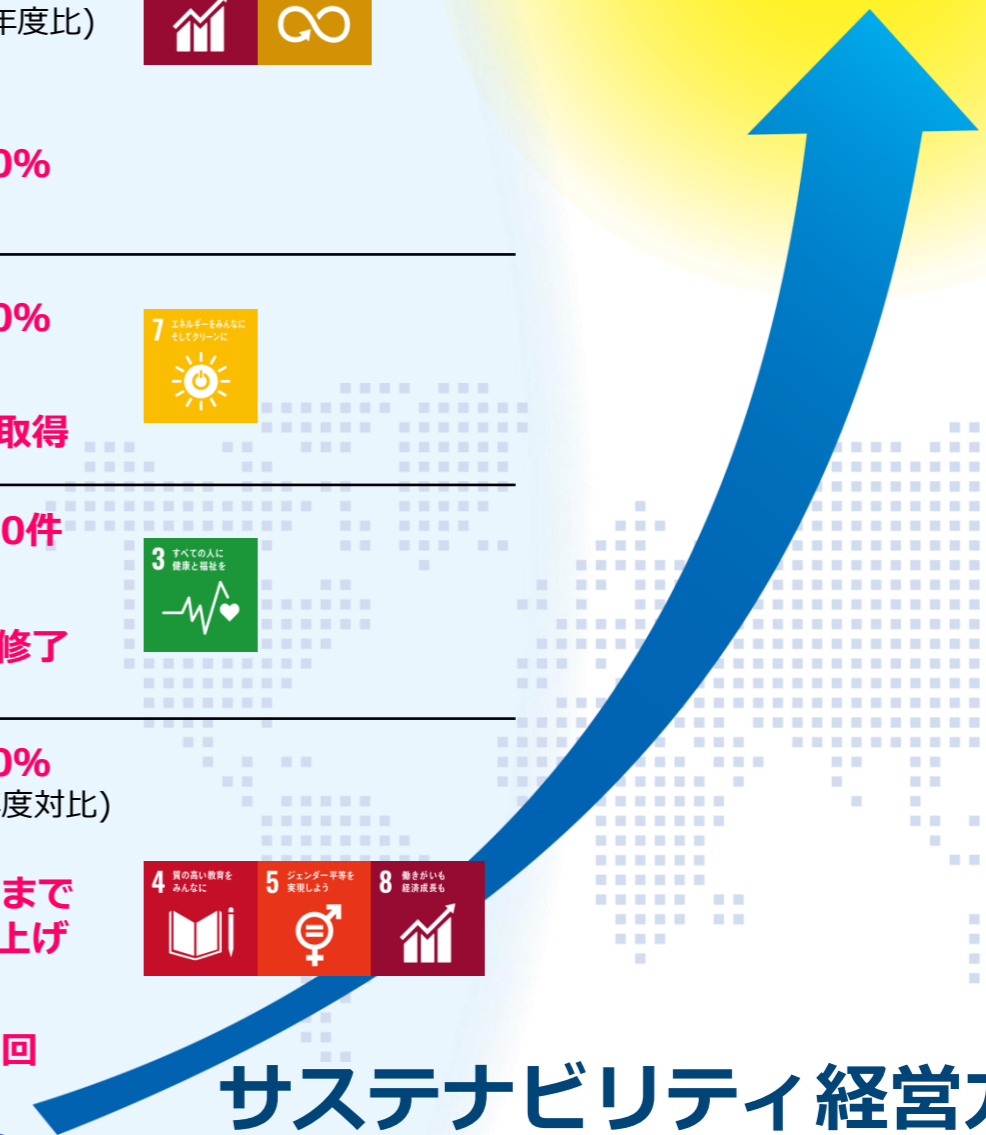
30回



サステナビリティ経営方針

当社は、環境測定機器をはじめとした社会に必要な様々な精密機器の部品を製造することで社会に貢献しています。製造工程のなかで、エネルギーや資源の使用は免れられませんが、最新設備による加工や新素材による強度の向上など、品質方針に併せて、何がムダかを考え、環境負荷の低減に取り組んでまいります。

持続可能な
社会の実現



企業理念

私たちは、お客様のニーズに全力で取組み、技術を駆使し、信頼される品質を追求することにより魅力ある企業を創造し、顧客発展に寄与する。その創造は、智恵、行動を通じて企業と自己が共に成長し、楽しく働ける職場環境を作り、充実した豊かな生活を目指し、地域社会に貢献する。

ビジョン

会社は継続的に設備投資やDXに取り組むことで作業環境を整備し、従業員は顧客満足の理解とより良い製造方法の検討を通じて報酬を得ることで、共に更なる高みを目指す。